

2019年7月19日

成績評価における客観的指標の算出方法について

東京保育専門学校

本校在学生の成績評価における客観的指標の算出方法については、学則細則（教務内規）Ⅱ－２－（１０）に定める通り、GPA（Grade Point Average）方式を活用することとしている。具体的な方法は以下の通り。

【学則細則（教務内規）Ⅱ－２－（１０）より】

成績評価における客観的な指標としてGPA(Grade Point Average)方式を行い、学生の学習指導等に活用する。

GPAは、(6)におけるSを5点、Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点として数値に置き換え、その合計を履修教科数で割って算出する。これにより学生全体および個人の履修状況を客観視し、学習指導の改善に役立てるとともに、適宜各学生の履修指導を行う。

GPAの算出方法はホームページに掲載し、公開する。また個人結果は学生個人に通知する。

(参考：学則細則（教務内規）に定める成績評価に関する基準関係の抜粋)

【学則細則（教務内規）Ⅱ－２ 本文より】

成績評価は、試験（実技、論文、作品等を含む）の結果、平常の学習状況、出席状況等により総合的に行う。

【学則細則（教務内規）Ⅱ－２－（１）より】

成績評価を、合格と不合格に分ける。

60点以上を合格とし、60点未満を不合格とする。

【学則細則（教務内規）Ⅱ－２－（２）より】

教科担当者は、履修学生の成績を素点で教務部へ提出する。

【学則細則（教務内規）Ⅱ－２－（６）より】

成績証明書の発行等、評定を学外に報告する場合、原則として次のように表す。

100点～90点・・・S

80点以上・・・A

70 点以上 . . . B

60 点以上 . . . C

60 点未滿 . . . D

以上